

令和 2 年度（2020 年度）北海道原子力防災総合訓練について（案）

令和 2 年（2020 年）7 月現在

1 訓練の目的

防災関係機関が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚や、防災対策に関する理解促進を図る。

2 主 催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村（道及び 13 町村）

3 実施日時

令和 2 年（2020 年）10 月 31 日（土）9：00～16：00

4 訓練内容（主なもの）

国の原子力災害対策指針で定められた避難の判断基準（EAL, OIL）に基づく、段階的な住民避難を円滑に行うため、次の訓練の実施に向け、関係機関と調整中。

※新型コロナウイルス等の感染症対策を講じた防護措置を実践

（1）意思決定訓練

項 目	主 な 内 容
■ オフサイトセンター運営訓練	○ 国、道、町村等の要員が参集し、住民の防護措置の実施方針の調整・確認を行う
■ 災害対策本部等運営訓練	○ 道、町村の災害対策本部の設置・運営

（2）実動訓練

項 目	主 な 内 容
■ 住民避難訓練	○ 住民の 30km 圏外への段階的な避難の実施
	PAZ 泊村、共和町
	UPZ 岩内町、寿都町、蘭越町、ニセコ町
	孤立地域等を想定した避難
要配慮者避難等	○ 社会福祉施設などへの通報連絡及び避難 ○ 在宅要配慮者の放射線防護施設への屋内退避
一時滞在場所設置・運営 （避難受入自治体）	○ 受入マニュアル等に基づく初動対応の確認 ○ 避難住民の受付・誘導手順の確認
■ 原子力災害医療活動訓練	○ 避難退域時検査及び簡易除染 ○ 安定ヨウ素剤（模擬）の緊急配布 ○ 医療機関への患者搬送と受入施設での医療措置
■ 緊急時環境放射線モニタリング訓練	○ 重点区域内におけるモニタリング活動の実施

5 課題等の整理

訓練に参加した住民に対するアンケート調査、防災関係機関に対する事後調査等により、次年度以降の訓練に向けた課題等を把握・整理する。